

将来を担う若者に聞く！

島田樟誠高校生と島田市議会との意見交換会

島田市議会では、18歳への選挙年齢引き下げを踏まえ、次世代を担う高校生との意見交換会を実施しています。この取り組みは、高校生が議会や島田市の現状をどのように考え、今後どうなってほしいかなどの意見を市政に反映できる場を設けていくために行っています。

今回は、1月12日に実施した、島田樟誠高等学校2年生18人と市議会議員6人との意見交換会の様子をお伝えします。

テーマ1 住み続けたいまちはどんなまち？

テーマ2 住み続けたいまちにするにはどうしたらいい？

Aグループ

- 公共交通機関が充実しているまち
- 地域の人と関わりを持てるまち
- 楽しいまち（イベントなどの開催）
- 景観が良いまち
- 娯楽施設がたくさんあるまち
- にぎやかで人が集まるまち



どうしたらいい？

- お年寄りにやさしい交通施設整備。
- 地元の人と関わりを持てるイベントを開催する。
- 自然環境を生かしたまちづくり。観光施設や地元の名所を生かす。
- 駅周辺を発展させる。（お店を増やすなど）
- 若者が興味を持つもの（イベント、カフェ、飲食店など）



Bグループ

- 災害に対する備えが充実しているまち
- 働く場所の選択肢があるまち
- 家族で過ごせる場所があるまち
- 子育て支援や施設が充実しているまち
- 大学があるまち
- 住宅が安価なまち



どうしたらいい？

- 災害時にも利用できる緑豊かな公園を造る。
- 企業誘致
- 子どもを預けられる場所を作る。
- 多世代が楽しめる商業施設を造る。
- 学費の大幅免除

意見交換会を終えて

ワークショップでは、限られた時間の中で、高校生からさまざまな意見が出されました。高校生ならではのバフフルな意見を聞くことができ、大変参考になりました。

ご協力いただいた高校生の皆様ならびに学校関係者の皆様、ありがとうございました。